



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30-13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 (2) 5775

会長	小松	広穂
幹事	皆川	英二
会報委員	上野	三郎
	高橋	二一
	内喜	一次
	板垣	

No., **1034** 1979. 11. 20 (火) (曇) No..21

サインター紹介

本間儀左工門君	観光協会	温海R.C	
佐藤 拓君	小児科医	加藤 広君	} 鶴岡西R.C
八幡慶二君	建築	斎藤健治君	
矢尾板章君	宅地建物取引		
村上七五三夫君	分区代理	酒田東R.C	

◆ゲスト紹介

山形県傷痍軍人会理事 阿部 清太郎 氏
鶴岡市傷痍軍人会々長

会長・幹事報告

皆川 英二 君

1. 例会時間・場所変更のお知らせ
酒田東R.C 11月22日の例会を受入れ学生タミー嬢誕生祝いのため
11月22日(木) PM 6:00於御園別館 会費 ¥2,000
11月29日の例会は6クラブ合同例会のため11月28日に変更

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

温海 R.C 11月26日の例会を移動例会のため

11月28日 PM 4:30 於 鶴岡桃園 登録料 ¥4,000

2. 会報到着 寒河江 R.C、藤沢 R.C
3. ロータリー名言カレンダー申込書受け

◆ご挨拶

分区代理 村上七五三夫君

去る10月28日の I, G, F は、鶴岡クラブのホストで、小松会長さんはじめ、新穂フォーラム委員長さん、その他大勢のみなさんのご協力で、初期の目的を達成することが出来ました。本日は、一言御礼を申し上げたくて参りました。本当に有難うございました。

◆ゲストスピーカー紹介

小松会長

阿部清太郎さんを、本日の例会にお招きした経緯をご報告して紹介に代えさせていただきます。

阿部さんは第2次大戦中、フィリピンのバギオで戦傷をうけられ、そこで療養しておられたが、その時お世話になり、又非常に昵懇にして居た方を、11月にフィリピンに行く時に訪れたいが、名前の他は住所も判らないので、何とかロータリーのルートを通じてさがして頂けまいかと9月下旬にお話しがありました。私は、英語の達者な藤川君と相談をし、又名簿によると、バギオには、バギオロータリークラブとバギオ北ロータリークラブの2つがあることが判ったので、両クラブに手紙を出して、事情を説明し協力を求めました。向こうの地方紙の協力もあって、漸くその方の住所が判りました。以来、阿部さんが訪比されるまで、10通近い手紙が当クラブを通じて阿部さんにありました。

チョットしたロータリーの善意によって、終戦後長い年月を経たにも拘らず、再会することが出来たので、阿部さんから是非この事をお話したいということでしたので、本日おい出頂いたような次第であります。

◆ゲストスピーチ 37年ぶりの再会

阿部清太郎氏

私、昨年から財団法人日本傷痍軍人会山形県傷の理事をつとめ、又鶴岡傷痍軍人会会長をして居ります阿部清太郎であります。

この度、この例会にお招き頂いて、御礼を申し上げる機会を得たこと、心から有難く存じて居ります。この事については、先程小松会長さんのお話しの通りで、この秋頃から私は大変お世話になって参りました。私共の日本傷痍軍人会並びに妻の会の全国合同大会が三重県で開催されましたが、私共参加団は11月8日の大会に加わり、直ちにフィリピンに渡ったのであります。フィリピンでは日比両傷痍軍人会の親善交歓会と、マニラ、タガイタイ、バギオ、ルソン島ラグナ洲カリラヤ比島傷痍戦没者の碑における慰霊式等の行事を済ませて来たのであります。比島作戦での日本軍戦没者は52万人、それに在留邦人約2万人が戦没されました。なお、日本人観光団が減多に行かない、山本、本間両将軍の墓にも参拝して参りました。

私がこの行事に参加したのは、私の戦友も数多く居りましたので、バギオ市に於ける山形県傷としての慰霊式に参加したかったためと、親交があった現地人と37年振りに会いたい一心からであります。

戦争中の昭和18年3月から11月までの9ヶ月間、私はバギオ市の高原で療養生活をして居りました。ここは日本で云えば軽井沢のような、フィリピンの有名

な避暑地であります。松林の中に点在している戦前の米人別荘が、当時の海軍戦病者の療養所でありました。ここに私は、マニラの海軍病院から転送されて来たのであります。

この間、当時二十三、四才の附近の現住民の一人、マヌエル・カストロ君が——小学校の先生をしている奥さんと2人暮して居った——私に非常になつて、日常なんでも相談しては語り、益々親交を深めて居たのであります。又、彼が結婚する時も手を貸して、結びの後まで手伝ったものでした。それで、私をキャプテン阿部として、9ヶ月の療養生活中毎日のように、訪ねられたり訪ねたりして来たものであります。11月に入り、そろそろ退院準備かなあとと思っている間に、突然マニラ海軍司令部付の命を受けて、帰ることになったのであります。その時、1枚の二人の写真をもらって、泣く泣く別れを惜んで今日に至ったのであります。37年の長い間、私は何時かは一度位連絡か、又は会える機会があるものと一日も忘れることなく今日まで来ました。

幸い、先程の傷痍軍人会全国大会を機に、フィリッピン行きが計画されたので、この機を外してはとこの秋以来、小松会長さんに無理にお願い致しまして、是非、国際ロータリーを通じてさがして頂ければと、2ヶ月間お手配を願った次第であります。こうしている間に、私が探している記事をバギオの新聞で見たカストロからの第1信が、10月15日にこちらのロータリークラブを通じて私に入りました。それは誠にすばらしい、感激した内容のものでした。又、今西ドイツに居る奥さんから、この長い間、よくも忘れずに探し求めて呉れたと、これ又感激込めた便りが送られて来ました。

11月12日、私達はスケジュールの都合もあって、早朝、宿舎のバインホテルから電話で、勤務先のヒルトップホテルに連絡したところ、早速自分のジープで一瞬のうちに飛んで来られ、私を見るなりしっかりと抱き込み、37年振りの感情を泣いて喜んでくれました。私も涙でクシャクシャとなり、フロント前に立ち手を取り合って喜びをかわして来ました。ホテルのフロントに居る従業員や、朝食に出入りする他国人はみんな、私達2人の光景を見て拍手を送って、感激の喜びを示してくれました。

これも、一から十まで、皆様方ロータリークラブの組織のご協力のたまものと、心から深く深く感謝申し上げる次第であります。ほんとうに有難うございました。

◆会員スピーチ 私共が見た韓国

会員 石黒慶之助君・板垣俊次君

私共がR. I アジア大会に参加し、帰って1ヶ月目の10月26日には韓国を18年間統治して来た朴正熙大統領が自分の最も信頼して来たK I C A部長により射殺されるという悲運な事件が起ってしまいました。朴政権は基本的人種や市民の自由を抑圧し強権政治を強行したことは否めませんが、彼のセマウル運動—勤勉、自助、協同の精神を高揚し、退嬰と停滞と貧困の打破を主張し、勤勉と創意こそ国家の繁栄につながる——により韓国を隆盛にした功績は偉大であると思います。

ところで私共は9月18日より6日間韓国を訪れ釜山、慶州、ソウル、仁川などを見て来ましたが、旅行の詳細は割愛させて頂き、私共の見聞や日本語の達者な韓人数名の方々との会話の中から韓国の現状についての感想を述べさせて頂きます。

(A) 韓国の現状について

朝鮮半島は南に大韓民国と北に朝鮮民主主義共和国と分断され、共に準戦時体制になっていることです。夜間の外出禁止令のもとネオンの光は殆ど見当りません。自由を制限された統制国家とみられます。義務教育は小学校6年まで、勿論、国民皆兵、徴兵制であり、今尚、防空訓練も実施されています。観光のための海外渡航はゆるさず、逆に外人の観光を歓迎し外貨の貯蓄を考えているようです。写真撮影禁止の場所もあります。大東亜戦争を経験した私共にとって過去の日本を想い出されます。ソウルのデパートの社長が“韓国は日本より文化経済などの面で10数年遅れているだろう”と申された言葉がうなづかれます。

(B) 韓国に学びたいと思ったことも沢山あります。

1. 国民は日本人よりもはるかに勤勉でよく働きます。週休2日制など話題にもなりません。
2. 国内の治安は非常によく、“日本のように乞食やヤクザはいない”と自慢されました。
3. 公衆の場や道路がまことによく清掃が行きとどいており、チリや紙くず等は見当りません。緑化運動の推進のため並木や花壇が美しい。ゴミ箱やタバコの吸いがら入れが完備している。
4. 忠孝礼節の東洋の精神が脈々と生きている。例えば身内のある老人を養老院に入れることは殆ど無いそうです。
5. 建国精神が旺盛で公私共に建築が盛んに行われています。藁葺きの民家はすべて瓦屋根、土塀の家に変っている。
6. 子供達も親切で道徳教育が行きわたっている。元気がよく、卑屈なところもなく、のびのびとしている。
7. 衣類、食べ物など日常生活は節約であるが、特に食物は肉、魚、野菜、穀物などは食べれるものはすべて食べる。食糧自給を目的としているようです。昨年までは五穀米を常食としていたそうです。

(C) 困ったことについて

1. 国内何処に行っても、ニソクと唐がらしの混ったような悪臭がつかまとうこと。日本の空気と違うように感じた。
2. 飲料水が悪く、生水は飲めない。
3. 韓国料理は辛すぎて私の口には合わない。板垣君は大好きでした。
4. 一般の国民は日本語も英語も殆ど通じない。道路標識も広告看板も大部分がハングル文字であると云ってよい。しかしホテル、デパート、商店では日本語の上手な方が多い。
5. 自動車は右側通行であり、タクシーはオンボロ車であり日本の車から見れば全くお粗末で乗っていても身の危険を感じずらい。
6. 商店は勿論デパートでも定価を平気で値引きする。商売熱心で店員は付き切りで“自分のところが本家本元だから一番良い品を一番安く売っている”とか、“日本に持って行けば3倍位の値になる。勉強しますよ”とか執ように購買意慾をそそる。
7. チップの横行。

(D) 日本人として恥しいと思ったこと

日本と韓国は一衣帯水というか最も近い外国であります。有史以来種々な交渉があったわけであります。しかも日本の文化が最近まで朝鮮半島から導入されて来たのに、常に迷惑をかけたのは日本であつたでしょう。その中で最も遺憾に思

ったことは約350年前、加藤清正や小西行長らの日本軍が朝鮮半島を荒らし廻って、貴重な文化財を焼きはらい、更には皇子を人質にとったり、陶工数百名を日本に連れ去った事実であります。3,000年の歴史を誇る慶州では国宝である大伽藍の仙国寺を、更にソウルでは宮殿景福宮という第1級の国宝建築物を、その他の文化財まで加藤清正が焼き払い、韓国は荒廃し、陶器の製産も出来なくなったとガイドに説明を受け胸を痛めました。

またある韓国人は“朝鮮戦争の際、米軍の仁川上陸に当り、ソウル市内の共産軍の艦砲射撃を行ったが市内の文化財には一発の砲弾も当てなかった”と言っていました。この2つの事実を思い比べ日本人として肩身の狭くなる恥かしさをおぼえました。それにつけても今大会におけるR.I会長ジェームス・ポーマー氏のスピーチで「平和は戦争による勝利よりもはるかに大きな勝利である」と申されたことが私の脳裏に強い印象となって残っています。

(E) 最後に文化的に見た“日韓の違い”について

私は最近、米国のピーターF・ドロッカー教授の著書「傍観者の時代」より興味深い評論を発見しました。教授は慶州の博物館で王陵の出土品を見、更に京都国立博物館で同年代の日本の貴族や豪族の古墳よりの出土品を見て、その相異について述べておられます。

先ず、韓国では王冠や宝石類、織物など円熟した新羅王朝文化の香り高い芸術品であったが、それは何れも政府機関による統制された画一的な文化であり、例えば現代の陶器にしても形・色彩・模様などバラエティーに乏しいが、紀元前57年より935年までの1,000年の間の新羅王朝時代の出土品に余り変化が見られない。

日本では縄文式土器や埴輪などは粗末な赤土粘土を用いた原始的で素朴な作品であるが、そこにユーモアやゆとりを感じ、そこに発散され溢れる個性美が見られると述べている。

私はこの論評を読み、日本の現在の繁栄の源は、大陸や半島からの文化の伝播は遅れても、既に2,000年前より独創性に富み、個性美を尊ぶ特色を持ちつづけて来たからではなからうか、などと考えております。

委員会報告

嶺岸君

○クラブ奉仕委員会

会員増強委員会からの要請に依り、12月4日4時より産業会館の4F第一会議室に於いて次の委員会を開きたいと思しますので委員の方は是非出席願います。

職業分類委員会 笹原桂一君、山口篤之助君、菅健君。

会員選考委員会 中野清吾君、斎藤得四郎君。

会員増強委員会 市川輝雄君、阿部与十郎君、三井健君。

ロータリー情報委員会 鈴木弥一郎君、早坂源四郎君、三井賢二君。

○75周年記念委員会

三井賢二君

○11月結婚記念日に当る会員

阿蘇司朗君	34.11.8	板垣広志君	33.11.8
安藤定助君	34.11.3	三井健君	22.11.14
藤川享胤君	47.11.3	諸橋政積君	36.11.9
早坂源四郎君	4.11.16	小野寺清君	22.11.5

佐藤 昇 君 22.11 菅 健 君 27.11.21
 新穂光一郎 君 50.11.24 高橋 耕二 君 33.11.18
 菅原辰吉 君 15.11.28 山口 篤之助 君 22.11.21

○ロータリー財団委員会

丹下 君

「財団協力の日」募金 ￥15,285

○親睦活動委員会

皆川 君

佐藤友吉君 致道博物館の重要有形文化財保存施設収蔵庫の建設工事を担当。
 佐藤 昇君 同じく設計管理を担当。
 斎藤利男君 去る10月30日職場見学のお礼をクラブより差し上げたところ、そのお礼を又スマイルに頂戴。

○I.G.F特別委員会

I.G.F総務会の反省会が去る11月6日夜、新穂フォーラム委員長宅で開催された。例によって、委員長お手製の石狩鍋を満喫、フォーラムを成功裡に終え、肩の荷をおろしたためか、アルコールもかなりの進み具合이었다。



反省会の記念写真

委員長はカメラマン役をつとめ写っていない。

出 席 報 告

本日の出席席	会 員 数	72名	欠席者	阿部(与)君、張君、飯白君、五十嵐君、石原君、金沢君、宮沢君、森田君、中村(富)君、熨斗君、笹原君、佐藤(元)君、玉城君、津田君、内山君、鷺田君、渡会君
	出 席 数	55名		
	出 席 率	76.39%		

前回の出席席	前回出席率	80.56%	マークアップ	五十嵐(三)君一鶴岡西R.C 三浦君一R.A.C
	修正出席数	60名		
	確定出席率	83.33%		